

第2号

平成24年11月12日発行

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

東部土木登米地域だより

災害復旧工事の進捗状況

東日本大震災に係る災害復旧工事の完了割合は、発注件数ベースで約73%、査定決定件数ベースで約56%となっています。【平成24年10月末現在】

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、当事務所管内においては、道路、橋梁及び河川の公共土木施設について163件の被害が発生しました。これらの復旧を効率的に進めるため、被害箇所を数件ずつまとめて55件の復旧工事として発注し、平成24年10月末で40件の工事が完了しています。

東日本大震災に係る公共土木施設災害復旧

工種	災害査定		工事	
	決定件数(件)	決定額(千円)	発注件数(件)	H24.10.31現在 完了件数(件)
道路	115	1,472,499	25	(68) 18
橋梁	17	786,479	6	(0) 3
河川	31	1,052,750	24	(24) 19
計	163	3,311,728	55	(92) 40

※ () は決定件数の完了件数

トピックス

1. 「東日本大震災パネル展」を開催しました(8月3日~16日)

東日本大震災からの復旧・復興状況をお知らせするため、イオンタウン佐沼店の専門店モール通路をお借りして、「東日本大震災パネル展」を開催しました。

パネル展では、「登米地域の被災状況と復旧状況」について、代表的な被災と復旧事例をパネルにしてお知らせするとともに、「宮城県の被災状況と復旧状況」についても、被災状況や復旧計画を中心に展示しました。



○展示パネル紹介

東日本大震災パネル展の中から、「登米地域の被災状況と復旧状況」の代表的な例を紹介します。

(国)346号(道路) 登米市米山町櫓場地内



【被災状況】



【復旧後】

(主)河南米山線(橋梁) 豊里大橋



【被災状況】



【復旧後】

旧迫川(護岸) 登米市米山町中津山地内



【被災状況】



【復旧後】

長沼ダム(護岸) 登米市迫町北方地内



【被災状況】



【復旧後】

2. 「第11回長沼川を考える会」が開催されました（9月4日）

平成24年9月4日（火）、宮城県登米合同庁舎において「第11回長沼川を考える会」が開催されました。

長沼川は、登米市迫町佐沼の市街地を流れる河川ですが、近年水質悪化が進行しています。そのため、長沼川の水質浄化や親水利用について、市民と行政が一緒になってできる改善策等を検討するため、平成17年に委員の公募により「長沼川を考える会」が設置され、多くの意見交換が行われてきております。

「第11回長沼川を考える会」においては、今年度の長沼川河川改修事業の概要の説明と、平成22年度から実施している長沼川地域協働事業（コラボ事業）の本年度の施工内容の提案を行いました。

長沼川地域協働事業は、「長沼川を考える会」を主体として水質改善等の施策を検討・実施するための事業であり、平成22年度から平成24年度までの3箇年で進められています。



《会議状況》



《長沼川の現況》

3. 長沼レガッタ会場で「迫川フェスティバル」を開催しました（9月16日）

当事務所では、平成24年9月16日（日）に開催された第23回長沼レガッタ（※）にあわせ、迫川フェスティバル（迫川改修80周年及び長沼ダム紹介パネル展）を開催しました。

迫川は昭和7年に新川開削工事に着手して以来、今年で改修80周年を迎えました。また、平成25年度には、昭和50年より建設に着手した長沼ダムが完成予定となっています。

今回の迫川フェスティバルは、迫川改修80周年記念事業の一環として、迫川改修・長沼ダム建設事業の歴史と効果を皆様に広くお伝えするため、開催したものです。

当日は天候にも恵まれ、200人を越える多くの方々に展示パネルを見ていただきました。特に長沼ダム周辺の模型は関心があったようです。また、併設したミニゲームコーナー（ストラックアウト）ではたくさんの子供たちが参加し楽しんでくれました。

※「長沼レガッタ」は、長沼で行われる一般参加型の漕艇競技です。



展示ブース



パネル等展示状況



ストラックアウト「えいっ」

4. 「平成24年度蕪栗沼環境管理会」が開催されました（10月4日）

平成24年10月4日（木）、大崎市田尻総合支所において「平成24年度蕪栗沼環境管理会」が開催されました。

「蕪栗沼環境管理会」は、動植物の貴重な生息空間である蕪栗沼とその周辺の蕪栗沼遊水地において、これらの管理及び保全上必要な事項を検討・協議するため、関係する土地改良区代表者、NPO法人代表者、環境省東北環境事務所及び関係市の事業担当者などを委員とし、平成12年度に発足した組織です。

昨年は、東日本大震災の影響で開催出来なかったため、2年ぶりの開催となった本年度の環境管理会では、東日本大震災で被災した河川管理施設の復旧状況と今後の工事計画、蕪栗沼の水質・生物環境に関する調査結果について協議しました。委員からは、鳥の観察シーズンと工事期間が重なることから、迂回路情報など観察者に配慮した工事看板を設置することなどの意見をいただきました。



《会議状況》



《動植物の貴重な生息空間 蕪栗沼》

5. 「第34回迫川河川クリーンキャンペーン」が行われました（10月16日）

毎年、宮城県建設業協会登米支部では、迫川や旧迫川などに捨てられたゴミの収集をボランティアで行っており、今年も10月16日（火）、秋晴れの好天の下、当地域事務所と合同で河川のゴミ拾いを行いました。

河川クリーンキャンペーンは今年で34回を数え、今回は建設業19社・98名と地域事務所職員29人が参加し、迫川41.6km、旧迫川19.2kmの合計60.8kmの区間の清掃を実施しました。

河川敷には空き缶、ペットボトル、紙くず、タバコの吸い殻、古タイヤ、家電製品等が捨てられており、全員でゴミを回収しました。

当事務所では、今後もきれいな川を守るため、河川への不法投棄の防止等の取組を積極的に行っていきたいと思います。



《出発前 開始式》



《清掃活動の様子》

主要事業紹介

○主要地方道 涌谷津山線下屋浦道路改良事業

<事業概要>

主要地方道涌谷津山線は豊里町の市街地を通過していますが、幅員が狭小で屈曲し歩道も設置されておらず、更には、JR気仙沼線横過部の幅員及び高さが制限されており、安全で円滑な交通に支障をきたしている状況にあります。県では、車両の快適な通行と自転車歩行者の安全確保など交通の円滑化を図るとともに、快適な暮らしを支える地域づくりに寄与するため、登米市の市街地北側の土地区画整理事業と一体的にバイパス整備を進めており、平成25年度の供用開始を目指しています。

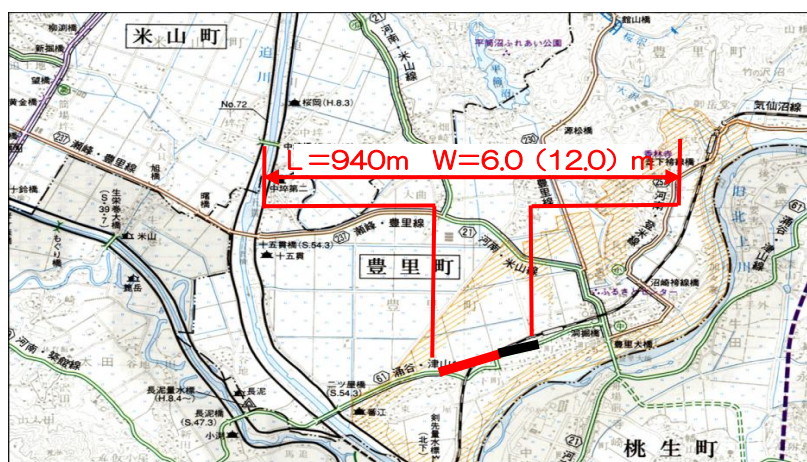
<計画諸元>

- ・ 路線名 : 主要地方道 涌谷津山線
- ・ 事業箇所 : 登米市豊里町二ツ屋～下屋浦 地内
- ・ 事業延長 : L=940m (内約500mは供用済)
- ・ 標準幅員 : 2車線 片側歩道付 W=6.0 (12.0) m
- ・ 計画交通量 : 4,172台/日
- ・ 道路規格 : 第3種第3級
- ・ 設計速度 : 50km/h
- ・ 事業期間 : 平成14年度～平成25年度

<平成24年度の工事内容>

- ・ JR気仙沼線の新設跨線橋 (L=345m) の橋梁床版工事
- ・ 跨線橋への取り付け道路改良工事

<位置図等>



側面より



シリーズ 迫川改修の歴史を振り返る（迫川改修80周年を記念して）〈第2回〉

「迫川改修の歴史を振り返る」と題した本シリーズ、第2回目では登米地方を襲った水害の歴史をたどります。

【カスリン台風水害】

戦後の混乱が続いていた昭和22年9月15日、マリアナ諸島東方で発生した台風9号（国際名：カスリン）は、紀伊半島沖へ到達し遠州灘を通過して三陸沖へ抜けました。

台風の日本列島上陸はなかったものの、停滞していた前線に台風からの湿った風が吹き込み前線活動が活発化したため東日本の広い範囲で大雨となり、仙台市では総雨量186mm、最大1時間雨量56mm/hを観測する記録的な豪雨となりました。

この影響で、旧登米郡中田町の北上川右岸堤防が決壊し、旧中田町全域と旧登米町、旧迫町、旧米山町の広い地域が水没した他、中小河川の氾濫による洪水被害が各所で発生し、県内の死者・行方不明者は30名、家屋浸水約3万戸という大きな被害を受けました。



洪水被害によって冠水した旧迫町市街地の様子（写真左）
現在登米市の「教育資料館」となっている旧登米尋常高等小学校付近の様子（写真右）
※写真は、宮城県土木部河川課提供

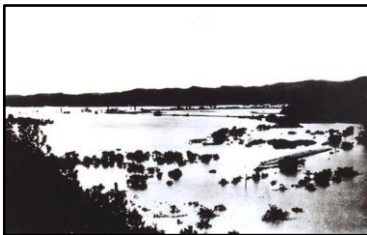
【アイオン台風水害】

カスリン台風の来襲からほぼ一年後の昭和23年9月16日、マーシャル諸島東部で発生した台風21号（国際名：アイオン）は、強い勢力を保ったまま房総半島に上陸し、東北地方の太平洋沿岸をかすめるように東進しました。

これにより、台風周辺にあった前線活動の活発化と強風の影響で、宮城県や岩手県では、近来希に見る暴風雨となり、仙台市での総雨量は351mmを記録しました。

また「築館観測所（現栗原市築館）」では、最大1時間雨量109.4mm/h、最大4時間雨量308.7mmを記録する大変な豪雨となりました。

県内の死者・行方不明者は44名、家屋浸水約3万4千戸、堤防決壊は1,000箇所以上に及び、カスリン台風の傷跡が消えぬ登米地域にも大きな被害をもたらしました。



水没した旧東和町の水田（写真左）
記録的な雨量を観測した旧築館町内の様子（写真右）
※写真は、宮城県土木部河川課提供

【台風6号水害】

平成14年7月11日、千葉県館山市付近に上陸した台風6号は、鹿島灘から三陸沖を北上し釧路沖へ進みました。

この間、梅雨前線が停滞し、折からの台風北上に伴って活動が活発化したことから、7月10日から11日かけて宮城県内は大雨に見舞われ、登米地域を含む県内ほとんどの雨量観測所で、総雨量200mmを超える記録的な豪雨となりました。

県内では、死者1名、床上・床下浸水家屋3,400棟、被害総額164億円を超える災害となり、登米地域においても農地冠水に伴う農業被害や河川施設災害が各所で発生しました。



増水した迫町佐沼（錦橋付近）の迫川（写真左）
消防団による増水河川での水防活動状況（写真右）

★第3回目では「迫川改修計画の歴史」を振り返ります。

スマイルサポーター活動紹介

今回ご紹介するのは、迫川左岸（錦橋～佐沼大橋）においてスマイルリバー活動を行っている久光電気（株）さんです。9月8日に、17名で草刈りとゴミ拾いを行いました！ これからも河川の美化に努めていきます！



<作業前>



<作業中>



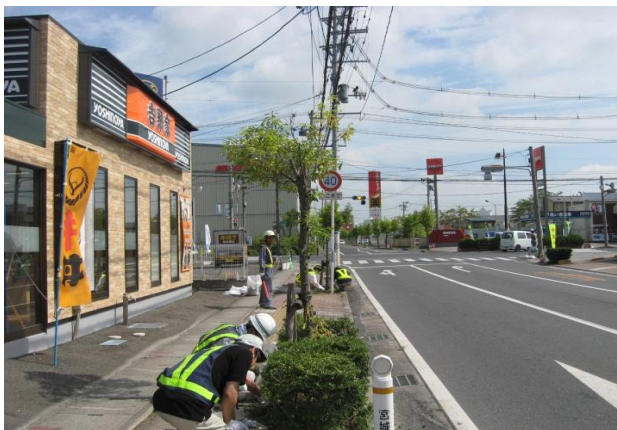
<作業後>



お疲れ様でした！

○「道の日」ロードクリーンキャンペーン

8月10日の「道の日」に、当所職員とスマイルロードサポーターが協働で、主要地方道古川佐沼線等において、道路の清掃活動を行いました！



宮城県では、県が管理する道路や河川でボランティアによる美化活動を行う個人や企業、団体を「スマイルサポーター」として認定する制度を推進しています。地域の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

事務所からのお知らせ

迫川河川改修80周年記念イベントが開催されます

■開催趣旨

今年度、迫川の河川改修事業が着手から80周年を迎えたことから、迫川の洪水や治水対策の歴史、流域の豊かな自然環境が有する魅力、今後の河川管理のあり方等について地域の方々と共に共有するとともに、川を通じた人と人との絆や地域のつながりを再考し、未来に向けて新たな歴史を刻んでいくために、迫川改修80周年記念イベントを開催するものです。

■開催日時

平成24年11月16日（金）11:00～16:30

■開催場所

栗原市若柳総合文化センター（ドリーム・パル）

■開催行事

◇記念式典 11:00～12:00

- ◇宮城県知事式辞
- ◇来賓祝辞
- ◇迫川改修事業の経緯説明

◇記念行事 13:00～16:30

- ◇基調講演1 「水を治める」ということについて
【講演者】 青山俊樹氏（公益社団法人日本河川協会理事）
- ◇基調講演2 「迫川流域の魅力を未来へ」
【講演者】 橋本潔（宮城県土木部長）
- ◇地域伝統芸能「とよま囃子」演舞
【出演者】 とよま囃子保存会
- ◇パネルディスカッション
【コーディネーター】 板橋恵子氏（ラジオパーソナリティ/プロデューサー）
【パネラー】 菅原郁夫氏（元迫川水系総合開発期成同盟会会長）
上野智通氏（迫川沿岸土地改良区理事長）
戸島潤氏（NPO法人蕪栗ぬまっこくらぶ副理事長）

◇パネル展（同時開催）

- ◇水害から命を守る治水対策
- ◇東日本大震災からの復旧・復興

この機会に故郷の川・「迫川」の未来を一緒に考えてみませんか？
多くの皆様の参加をお待ちしております！

編集後記

8月に「東部土木登米地域だより1号」を発売して以来、3カ月ぶりの発売となりました。本号では、スマイルサポーターの方々や、地域の皆様に参加いただいたイベントを中心に掲載しています。今後も定期的に発売し、皆様に親しんでいただけるよう、取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



宮城県東部土木事務所登米地域事務所

〒987-0511

登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

TEL：0220-22-7533

FAX：0220-22-7534

事務所ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/et-tmdbk/>

事務所代表メールアドレス

et-tmdbk@pref.miyagi.jp